

敬学会

Note—Book

Made of Paper
Specially Prepared in Tokyo



敬学会賞第十九回入選作品

時間調子

山一五の二

米田 豊

目次

2ページ

動機

3ページ

本論

ボーイスカウトについて

8ページ

時間調べについて

18ページ

結論

20ページ

{ 調べた本
{ お世話になった人

21ページ

反省

動機

お祭や
お祭りや
お祭りなど
行事

はくは、今まで、ボーイスカウトのスタイルや
の時、交通セリリなどをして、ボーイスカウトを見て、あこがれ
を持っていたか、ほんとうのボーイスカウトというのは、どんなも
のか、ボーイスカウトの仕事や歴史を調べたりしながら、
ボーイスカウトについての理解を、深めたいと思う。そして、ボー
イスカウトに入って、自分をまたえ社会にほうして、世界じゅう
の人々と、友だちになりたい。外国へいけるきかいもあるし、
しょうらい、考古学者になって、世界じゅうを回る時、なにかと
つごうがいいと思うので、ぜひ入団したい。しかし、せいかく
入っても、じゅくや勉強で、いけなくなると、こまるので、
生活の時間しるべをして、毎週日曜日を、ボーイスカウトの時間
に使えるかどうかを調べてみようと思った。

本論

1. ボーイスカウトについて

ボーイスカウトをはじめた人は、ベーデン・パウエルというイギリス人
である。元き兵隊のしょう校で、インドやアフリカに在任していた時
青少年の社会教育について大変感じるところがあって、イギリス本国
に帰ってから、町の青少年教育について、何年も研究をし1907年(明治40年)
の夏に、2人の少年達といっしょに、ブラウンシーという島で、キャンプを
して、実験を重ね、よく年の1908年(明治41年)にスカウティング「ボア・ボーイズ」
という青少年教育の新しい考案書も出版した。これが今のボーイスカウト
教育の始まりである。

パウエルは、アメリカの動物研究家で、画家で、著述家である
トムリン・レートンという人が、青少年を指導する時、森林生活を
取り入れて、非常に成果を上げた事を参考にした。

パウエルがイギリスで始めたこの教育は、間もなくヨーロッパ
諸国やアメリカで、取入れられた。1910年(明治43年)に、
アメリカでは、全国的な組織になり大変な発展をした。
1916年(大正5年)の6月に全米議会の決議で、ウィルソン
大統領の署名で「ボーイスカウト」という名前と制服と

記章は、永久に保護されることになりボーイスカウトでない他の者が使用することは禁じられた。

現在は、世界各国にボーイスカウトがあり、カナダのオタワに国際事務局があってみんなの名前がそこに登録されている。二年毎に国際会議が、四年毎に、世界大界(ジャンボリー)が開かれている。

日本のボーイスカウトは1911年(明治44年)からの長い歴史を持っている。1922年(大正11年)に国際事務局に登録され、世界大会にも毎回代表者を送っていたが、戦争のため一時中止されていたが1950年(昭和25年)7月1日に、また国際事務局に登録された。ジャンボリーにも参加してきた。1959年(昭和34年)には、日本ジャンボリーが、1962年には、アジアジャンボリーを日本で開いて、世界中からたくさんの参加者があった。山形ボーイスカウトは、隊員が120人ぐらいで団が五つある。毎週日曜日 9時30分に集まって、いろいろな人間になるくんれんをしている。

ボーイスカウト訓育法
班制・進級・技能章の三制度をおこない生活の信条として、3つの「ちかい」と「日常のものさし」として、12の「おきて」をもっている。

三制度

1. 班制度

5人〜8人ぐらいの小さい自治的なグループを作らせ1人の指導者は、4つまでのはんをたき、て隊として隊員を導いていく

2. 進級制度

一定の規準による考查をへて進級する級がよっていくことは、隊員(人)として完成にちかづいていくことである。

3. 技能章制度

隊員は、社会に対して、又自分自身に対して、やく立つために實際的な能力を身につけていなくてはならない。この技能を おぼえやすく身につけさせる。

ちかい

- 1 神と国とにまことをつくしおまこを守ります
- 2 いつも他の人をたすけます
- 3 体をよく心をすこやかにとくをやしないます

おまこ

- 1 スカウトはせいじつである
- 2 スカウトは悪せつをつくす
- 3 スカウトは人の力になる
- 4 スカウトは友まじに厚い
- 5 スカウトは、れいけい正しい
- 6 スカウトは親切である
- 7 スカウトは、じゅう順である
- 8 スカウトは、快活である
- 9 スカウトは、しんぞである
- 10 スカウトは、勇敢である
- 11 スカウトは、じゅんけつである
- 12 スカウトは、つつしみ深い

標語

「そなえよつねに」

スカウトは、どんな事に対しても何時でも必ずやり通すという、準備をしておきなさいという意味である。だからスカウトは、いつも心にも体にも又わざにもすまのないう様に、どんなことにもでも応じることが出来る心がまえを持って「あこい準備はできている」ということを意味する。そのためスカウト技能は、どんなことでも役たつ様に、準備のために練習するのである。

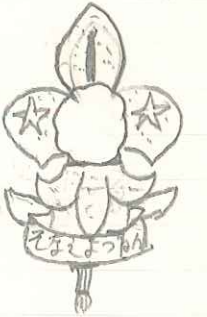
スカウト章(日本)

全体の形は世界各国がほとんど同じである。

意味 ① 花形は、百合(愛)である。3まいの花びらは、スカウト・サイン(3つのちかい)を意味する。真中のしんは、北をさすコニハスで、下のおひの様な物は、笑う口の形で、結ひは、日目のせ人行で、2つの星は、真理と知識を示すものである。

② スカウトの目をかたどったもので、スカウトは、何時もあらゆる事について、注意をしている。

スカウト章



という意味もある。

- ③ 星そのものをあらわしている。それは、ボーイスカウトの野外生活を意味している。
- ④ まん中の鏡は、日本を現わしている。そして、百合の花びらを、結んだ「バンド」は、世界のスカウトはすべて、兄弟であるという事をあらわしている。

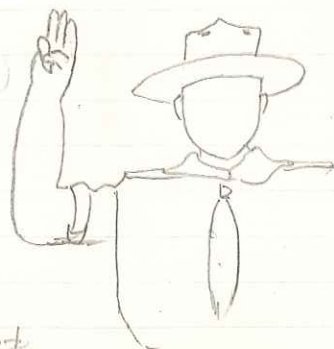
スカウトサイン

- ① 右手で三本の指(人差し指・中指・

くすり指)を立てる

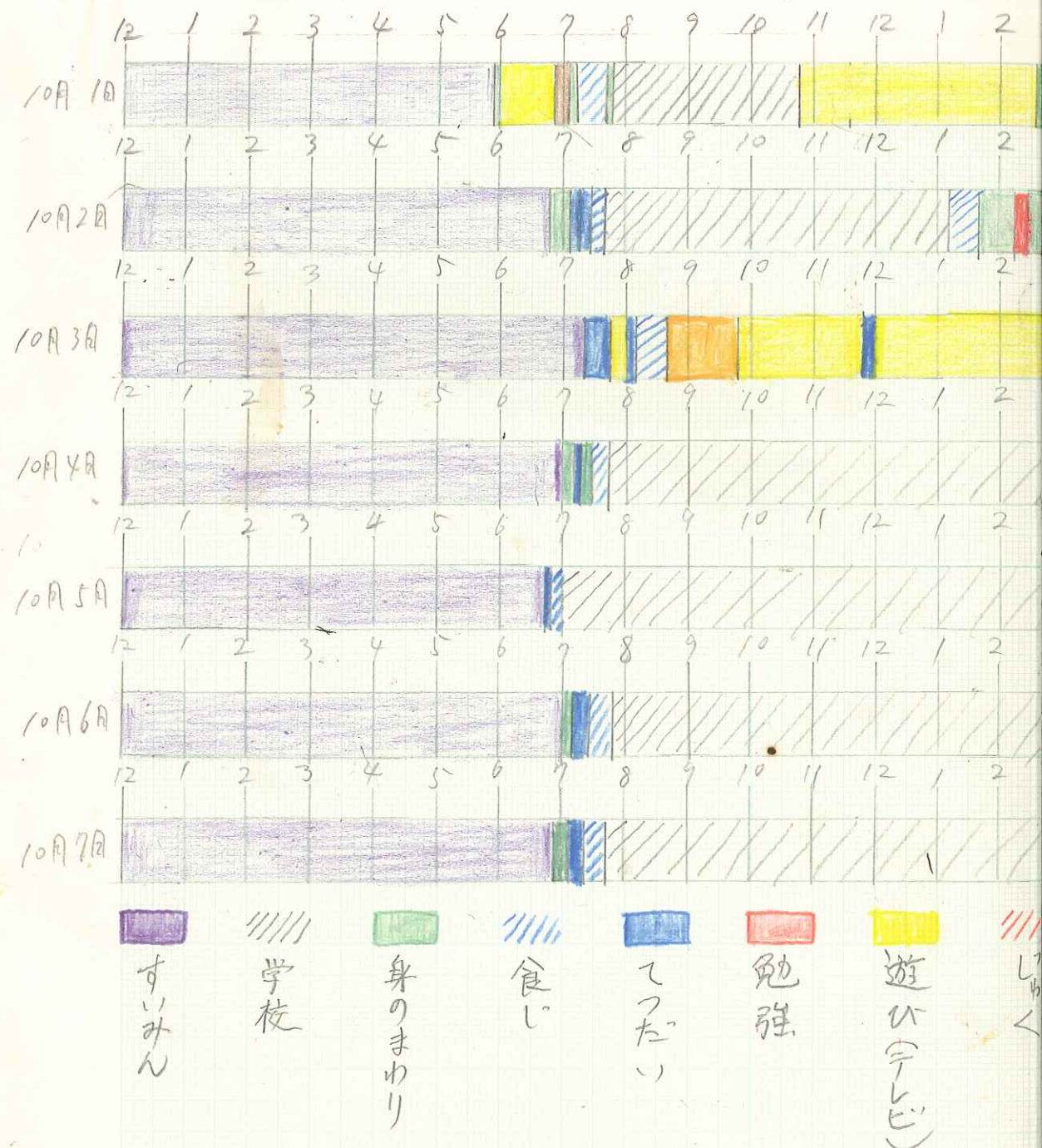
- ② 3つのちかいをあらわす

- ③ 私はスカウトですという意味
世界中 同じである。



時間調べについて

まず最初は、ふたごのまの生活を一周間調べてみた。



そのほか下の通りになりました。

すいみん	9時間 31分
学校	5時間 57分
身のまわり	1時間 26分
食い	1時間
てったい	17分
勉強	48分
じゅく	28分
遊び(テレビ)	3時間 5分
その他	1時間 12分 (1日平均)

この週の日曜日は、仙台に行ったので、ふたんど、ちがった特別な日曜日だった。けれども、月曜日から土曜日までの生活時間を見ると、ボーイスカウトにいく時間がとれそうだったということがわかった。ちょうど、母の本に、次のような時間調べの表がのっていたので、それとひかくしてみた。

(東京友の会子供部・1961年11月調査)

すいみん	9時間 40分
学校	5時間 47分
身のまわり	51分
食い	1時間
てったい	24分
勉強	1時間 32分
遊び(テレビ)	2時間 47分
じゅく	44分
その他	53分 (1日平均)

ひかくしたけが

1. すいみん・学校・遊び・その他はほぼ同じ
2. 身のまわりは、35分ほくの方が多し

① 着物や物のあとしまつ(ままた場所にかたづけろ)か

まぢんといいがない

② 準備が悪い

③ 重たさがのろい

3 食いは22分ぼくの方が少ない

- ① ふたん母から、テレビを見ながら食べると、おそいおそいといわれるが、ひかしたら、ぼくの方が、はやいのて、ひっくりした。しかしこの週は、ふっの週より少なめである。仙台に行ったりして特別な日があったから。

4 てつたいは、7分ぼくの方が少ない

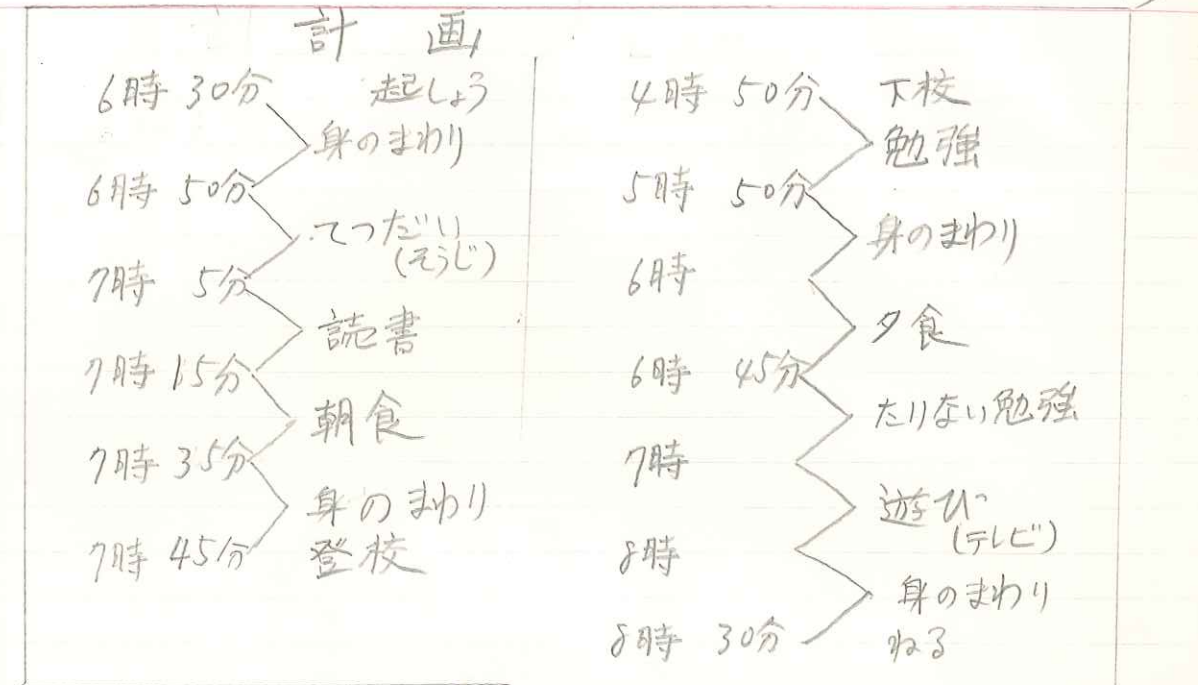
- ① ぼくは、仕事も、おっかいも、きちんとやっているからこれでいいと思う。ただ時々おっかいをたのまねると、いやな顔をするので、なおしたい。

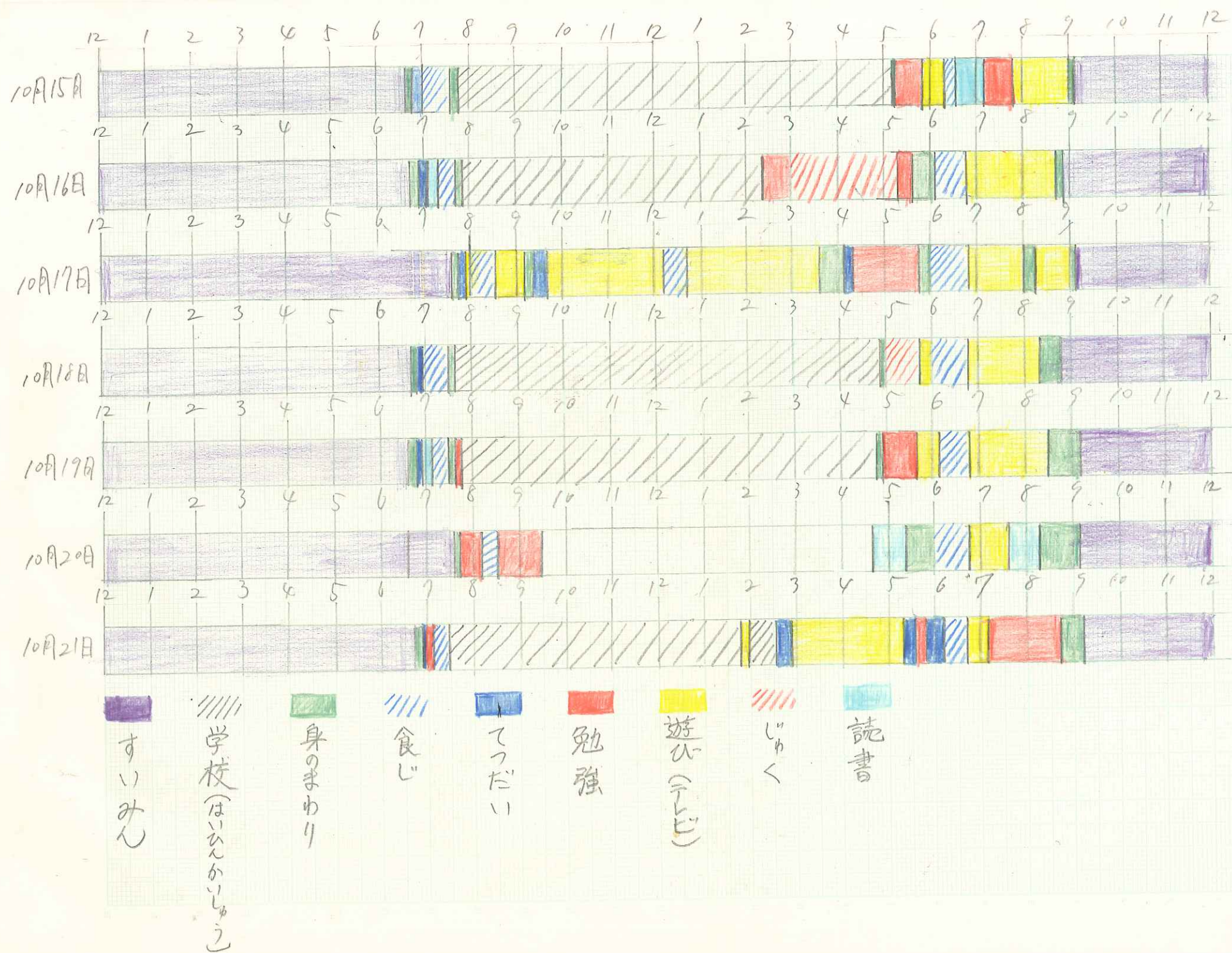
5. 勉強は、ぼくの方が44分少ない

- ① ときどきしゅくだいだけをして、他の勉強をやらない
時間があるので、よしう、ふくしゅうもやらなければなら
ない。

- ② 勉強時間は、1時間～1時間半するようにと、先生からも、いわれているので、もっとやまようにな
努力したい。

以上の様なけっかが出たので、無計画では、たまたまとい
うことが多かったので、計画を立てて実行することにした。





そのけっか

すいみん	9時間	28分
学校	5時間	51分
身のまわり	1時間	2分
食じ	1時間	4分
てったい		17分
勉強	1時間	9分
遊び	3時間	32分
読書		21分
じゅく	1時間	6分

前のけっかとくらべて

1. 身のまわりの間間か前とくらべて24分へった。

(1) 動さを すばやくするように、つとめたけ、かた"と思う。

(2) 前日に明日の着物の用い あすの 準備を すれは、
時間か もとつまた と思う。

(3) 朝起きて、着物を着るまでの時間をハッ、と起きて、手早く着物を着ること、身のまわりの時間を 少くすることか できる。

2. 食いは前よりも、なお4分多くなった。

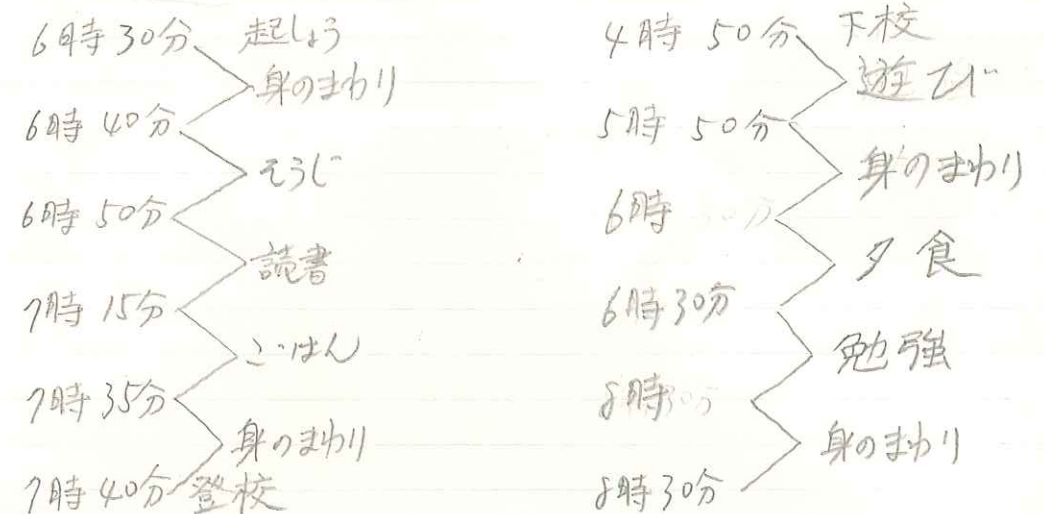
- ① 食いの時 父母や弟たちと、楽しく話し合いをすること。
 時間がのびても、こういう理由でのびたのはいいと
 思う

3. 勉強は前よりも、21分ふえた。

- ① 時間は21分ふえたが、ふさけたりしている時間も
 はいるので、ひらちり1時間20分はした。

学校から帰って、すぐ勉強すると、夕食の時夕食
 がすむと、勉強た。などと考えなくても、すむので、
 あまり遊べないか？ 不満ではない。時間調べの
 遊びの時間が多いのは、テレビの時間も入っている
 からだ。

ぼくの理想の1日の計画表



(注)

① 夜テレビを見る日は、遊びの時間に勉強
 をする

② ののてきないときは、朝その分早起きして、
 勉強する。

③ 習字があるとまは、テレビを見ないで、
 勉強する。

結 論

1. ボーイスカウトになるには、土曜日のうちに、日曜日の分の勉強と、月曜日の用意をしておけばいいける。たゞか、時間的には、いけても、さあぐて、やすんたり、ねあぐて、やすんたりするようでは、たゞめなので、意志の強い人間になろうと思う。それにはまず、朝パッと起きることだといつも母から、いわれているので、まず朝パッと起きることから、くんれんして、いまたい。

2. 無計画で生活するより、計画をたてて生活した方が、ずっとあたたかな時間か少なくてすむ。計画を守るために、4つの急所があることに気がついた。

① 一仕事 一片づけ

一つの仕事をしたらすぐ使ったものを片づけるそれから次の仕事をする。

② 先手仕事

いつも先手先手と手順よく片付けていく

③ はや仕事

仕事を早く 時間に 間に合うように仕事をかたづける

④ 必要なものを 必要なだけもつ

あってもなくてもよいものを、ゴタゴタもたない。

3. 精神がしゅうちゅうしてやれば、短い時間でたくさんの仕事ができる。

4. よい人生は、計画・実行・反省のつみ重ねである。だからたとえ何べん失敗しても、くじけないで、成功するまでやり通す。強い精神をもたなければならぬと強く感じた。

5. どんなよい計画を立てても、他の人の協力がなければ、計画がメチャメチャになるともあるから、他の人が計画を実行している時も、自分が協力してやらねばならぬ。それから、家中の人が一人一人計画を立てて、みんながそれを知ってみんなで協力して毎日をくらしたら、すてまらうと思う。

6. 「時は金なり」「時間の使い方は命の使い方である……目に見えることも見えないことも・大きいことも小さいことも・悪いこともよいことも・みんな一日一日の時間の中で、生きていくということを考えてみるととてもふしぎなことに思われる」

ということや考え方の意味がいくらかわかり
かけて またよい気がする。

調べた本

- ボーイスカウト ポケットブック
- 婦人の友

お世話になった人

- 島先生
- 母

反省

- 山形のボーイスカウトについて、もっと詳しく調べてたいと思う
- ボーイスカウトに入ってから、どんなことをするのか、調べてたい。
- 時間調べは、もっと大まかグラフに書けばよかった。